

Contrast EOP導入ガイド

はじめに

本書では、Contrastエンタープライズオンプレミス(EOP)版のインストールを開始する前に、Contrast EOPを導入するための要件について説明します。ご利用の環境で、Contrast EOPのシステム要件とサイジングの推奨事項を確認してください。本ドキュメントはオプションとしての扱いとなり、オフィシャルな情報に関してはオンラインドキュメントの以下インストールガイドを参照ください。

(<https://docs.contrastsecurity.jp/ja/contrast-installation.html>) - インストールガイド

(<https://docs.contrastsecurity.jp/ja/contrast-system-requirements.html>) - システム要件

(<https://docs.contrastsecurity.jp/ja/sizing-recommendations.html>) - サイジング推奨

システム要件

システムの構成要素について

Contrast EOPのインストールには、システムを構成するためのコンポーネントがすべて含まれています。これらのコンポーネントには、Tomcatサーブレットコンテナ、MySQLデータベースのインスタンス、AdoptOpenJDK Hotspot JVMなどがあります。これらのコンポーネントはすべて、インストールバイナリに組み込まれており、Contrast EOPのアーキテクチャの一部として単一のサーバにデプロイされます。

Contrast EOPのシステム要件

Contrast EOPのインストールを開始する前に、ご利用の環境が以下のシステム要件を満たしているか確認してください。

要件	推奨	最小	備考
OSアーキテクチャ	64ビット	64ビット	<ul style="list-style-type: none">メモリの必要条件のため、Contrastアプリケーションは64ビットアーキテクチャでのみ実行可能です。
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">RHEL 8RHEL/CentOS 7Microsoft Windows 2019Ubuntu 18.04 LTS以降 (20.04 LTSまで)	<ul style="list-style-type: none">RHEL/CentOS 7Microsoft Windows 2012 R2以降Ubuntu 16.04 LTS	<ul style="list-style-type: none">弊社のCentOS 6のサポートは、2020年12月1日をもって終了します。
Java	<ul style="list-style-type: none">Javaはインストーラにバンドルされています。		
MySQL	<ul style="list-style-type: none">Contrastのバージョン3.8.11以前のオンプレミス版には、MySQL 5.7.23がインストーラにバンドルされています。Contrast 3.9.0以降のオンプレミス版では、MySQL 8がLinuxインストーラにバンドルされています。		

- Contrast 3.9.3以降のオンプレミス版では、MySQL 8がLinuxインストーラとWindowsインストーラにバンドルされています。
- 何か問題がありましたら、弊社サポートにご連絡ください。

重要

MySQL 8(デフォルトでバイナリログが有効)を使用しているオンプレミス版のお客様は、Contrastでストアードプロシージャが作成できるように、システム変数log_bin_trust_function_creatorsをONに設定する必要があります。詳細については、[MySQLのドキュメント](#)を参照してください。

MySQL 8を使用しているオンプレミス版のお客様は、ContrastでCSVファイルを受け取りSCAデータのインポートができるように、システム変数local_infileをONに設定する必要があります。詳細については、icon-external-link.svgLOAD DATA LOCALのセキュリティ上の考慮事項を参照してください。

サイジング推奨事項

概要

Contrast EOPは、より多くのコンピューティングリソース(vCPU)やメモリリソースの拡張に重点を置いたスケールアップ型のアーキテクチャで設計されています。Contrast EOPのためのCPUとメモリリソースは、接続されているエージェントの数と、Contrast EOPと通信するアプリケーションのトラフィックによって異なります。また、以下の2つの要因もパフォーマンスに影響を与えます：

- **Contrast EOPで報告されるデータの利用者のWebトラフィック**
Contrast EOPは高度なトランザクションシステムで、リアルタイムでデータセットを計算しデータの利用者に返します。より多くのユーザがシステムを利用するほど、より多くのコンピューティングリソースとメモリリソースが必要になります。
- **長期間にわたってアプリケーションに保持される大量のデータ**
時間の経過に合わせてデータを積極的に削除することも、データを保持することもできます。どのトランザクションシステムでも、クエリの対象となるデータセットが大きくなるほど、コンピューティング要件も大きくなります。

構成オプション

Contrast EOPは、様々な導入シナリオに合わせて、CPU、メモリ、ストレージ容量の組み合わせによる構成が可能です。アプリケーションに適したリソースの組み合わせを柔軟に選択することができ、作業負荷に合わせてリソースを拡張することができます。

以下のガイドラインを参考に、最適なりソースの組み合わせを選択してください。接続されているエージェントの数が多いほど、Contrast EOPが実行中のトレースを処理するためのメモリ要件が大きくなります。ストレージは、トレースデータの寿命とシステム管理者によるログファイルの保存によって異なります。

小規模構成

Contrast EOPと通信するエージェントが3~30で、エンドユーザが5~25人規模のWebトラフィックを処理する場合に推奨される構成です。エージェントは通常、常に行われ、検出結果がContrast EOPに送られます。エンドユーザは1日に何度もシステムにアクセスし、アラート、レポートや外部ツールと連携された機能などを積極的に使用します。

エージェント数	vCPU数	クロック数	RAM	ストレージ容量
---------	-------	-------	-----	---------

3 – 30	4 – 8	2.5GHz – 3.3GHz	16GB – 24GB	100GB~200GB
--------	-------	-----------------	-------------	-------------

大規模構成

Contrast EOPと通信するエージェントが30~100以上のより大きな作業負荷や、エンタープライズ規模で展開される大規模なWebトラフィックを想定しています。エージェントは常に実行され、検出結果がContrast EOPに送られます。エンドユーザは1日に何度もシステムにアクセスし、アラート、レポートや外部ツールと連携された機能などを積極的に使用します。

エージェント数	vCPU数	クロック数	RAM	ストレージ容量
30 – 100以上	8 – 16	2.5GHz – 3.3GHz	24GB – 48GB	200GB~500GB

注： 作業負荷や構成規模に関係なく、Contrast EOPには最低16GBのRAMが必要です。

Contrast REST APIアーキテクチャを自動化またはデータ抽出の目的で使用している場合、および大規模な自動リグレーションサイトでエージェントの継続的インテグレーション(CI)を目的として使用している場合は、大規模構成のガイドラインに従ってください。
